

# 八学光星 巧みな継投 勝負強く



2年ぶり23回目の出場となる八学光星

# センバツ照準 県勢闘志

## 秋季東北高校野球 あす宮城で開幕

秋季東北地区高校野球大会は14日、宮城県で開幕する。来年春季の選抜高校野球大会出場への重要な参考資料となる大会には、本県から八戸学院光星（第1代表、八戸西（第2代表、聖愛（第3代表）の3校が出場。「センバツ」の二つの東北代表格を目指す。各地の代表としてのぎを削る。

（松田啓志、川越真也）

2年ぶり23回目の出場 豪を破り、勝負強いチームでは1年の主戦洗平らを最少に抑えた。本番でとなる八学光星は、青森ムムへと成長した。特徴的投手7人をベンチ入りも投手交代のタイミング山田や聖愛といった強なのは投手起用。県大会させ、巧みな継投で失点、クが勝敗を左右しそつ

だ。2回戦から登場の味方打線も、福島を立ち上げりから援護した石川（福島）の勝者と戦う。

初出場となる八戸西は身長188cmの主戦福島の出来が鍵を握る。県大会では全試合で先発を任せられ、角度のある直球と切れのあるスライダー、鋭く落ちるスプリットで打球回数に近い三振を奪った。初戦は同じ公立の福島商と激突。県大会4試合45得点の強力打線をどう封じるか。犠打15と手堅くも光る好調

6年ぶり4回目の出場を果たした聖愛は投手陣の駒がそろっている。本格派の町田、50km/hの緩急を操る葛西の両右腕のほか、制球力に自信を持つ左腕木村も控える。県大会本塁打ゼロとやや迫力に欠ける打線を粘り強い守りで補う。初戦は山形第1代表と強打を誇る日大山形と対戦、隙を突く走塁と犠打で相手バッテリーを揺るがし、

試合の主導権を握りた。大会は石巻市民、仙台市民の2球場で行われる。